

東海大学新聞掲載記事 (2020.2.1号)

大会新でチーム初の復路V

【陸上競技部駅伝チーム】箱根駅伝総合2位

陸上競技部駅伝チームが1月2、3日に東京・大手町から箱根・芦ノ湖(217・1キロ)で行われた東京箱根間往復大学駅伝競走に出場した。総合2位と目標の連覇には届かなかったが、チーム初となる復路優勝を達成。来年度のシード権も獲得した。

1区には鬼塚翔太選手(体育学部4年)が起用され、首位と10秒差の4位でタスキをつないだ。2区の塩澤稀夕選手(同3年)は、「初の箱根駅伝がエースの集まる花の2区でしたが、気負わずに次のランナーにいい位置で渡すことだけを考えていた」と先頭集団で落ち着いたレース運びを見せ、トップと2秒差の3位に順位を上げた。しかし、その後は首位を走る青山学院大学との差を広げられ、3分22秒差の4位で往路を終えた。

復路のスタートを任せられたのは館澤亨次主将(同4年)。前半から積極的な走りで3位に上がると、区間新記録となる57分17秒をマークし、首位青学大との差を2分21秒まで縮めた。7区ではルーキーの松崎咲人選手(同1年)が2位の國學院大學に追いつくとしばらく並走し、残り12キロ付近でスパート。単独2位に浮上し、首位との差をさらに20秒縮めた。

8区では、前回大会の同区間で区間新記録をマークした小松陽平選手(同4年)が2年連続で区間賞を獲得。9区では松尾淳之介選手(同)が区間8位と粘りの走りを見せたものの、首位との差を広げられてしまった。2年連続でアンカーを務めた郡司陽大選手(同)は区間新記録に迫る区間3位の好走を見せたが、総合2位でゴールテープを切った。

それでも復路は5時間23分47秒の大会新記録で初優勝、総合でも大会新記録をマークした前回大会を上回る10時間48分25秒を記録。両角速駅伝監督(体育学部准教授)は、「青学大に圧倒的な力を見せつけられた。この悔しさをバネに挑戦を続け、再び覇者となれるように挑戦を続ける」と決意を語った。

神奈川県住宅供給公社と協定

地域課題の解決に向け

知的資産と不動産資産を利活用

新設学部教育充実にもつなげる

神奈川県住宅供給公社と東海大学が、神奈川県中央・西部地区における地域課題の解決を目的とした連携協定を締結。1月16日に神奈川県住宅供給公社ビルで協定書調印式が実施された。東海大が持つ「知的資産」と同公社の「不動産資産」を利活用し、高齢者や子どもたちの暮らしにも優しい環境づくりを両者が協力して目指していく。

同公社は、県内に約1万3500戸の賃貸住宅を所有。横浜・川崎地区を除くと神奈川県中央・西部地区に所在する賃貸住宅数が全体の約半数を占める。その多くは竣工後40年以上が経過した団地タイプのもので、その入居率の維持が同公社にとって喫緊の課題となっているという。

協定は、人口・経済縮小時代に持続可能な神奈川県をつくるために、各産業を結ぶIoTの活用やエネルギーの削減に取り組むもの。

具体的には、両者による連携プロジェクトとして「神奈川県西部を中心とした広域ファシリティマネージメントの検討」や「東海大学学生による団地リノベーションプランの提案及び実施」「設計業務及び工事監理等の実業務支援の体験」

(裏面へ続く)

「公社経営の施設・団地において『健康』を通じたセミナー等の実施」「東海大学学生の団地への入居による新たなコミュニティ形成・強化に有益な社会活動」などを計画している。

調印式では、同公社の猪股篤雄理事長と東海大の山田清志学長が協定書にサインした。山田学長は、「本学は2022年度に向けて『日本まるごと学び改革実行プロジェクト』と題した大規模な改組改編を計画しており建築都市学部の設立も予定しています。新学部による活動も含め、学生が高齢者とともに暮らすような住環境を整え『教育の一環としての住まい』を考えていきたい」と今後の展望を述べた。

山下泰裕副学長 IOCの新委員に選出

日本オリンピック委員会(JOC)会長で東海大学の山下泰裕副学長(スポーツ・一貫教育担当)がこのほど、国際オリンピック委員会(IOC)の新委員に選ばれた。1月10日にスイス・ローザンヌで開催された総会で賛成74票、反対1票(棄権3)と圧倒的な支持を得て決定したものの。

現在の日本人委員は国際体操連盟会長で体育学部卒業生の渡辺守成氏のみで、今年7月に控えた東京オリンピック・パラリンピック開催を前にIOCとのパイプ強化のため日本人2人目の委員待望論も出ていた中での就任。任期は8年で、日本から通算15人目のIOC委員誕生となった。

山下副学長は学校法人東海大学理事や東海大副学長として大学運営にも従事。国際柔道連盟理事といった要職を歴任し、2013年にJOC理事、17年には全日本柔道連盟会長やJOC常務理事、選手強化本部長にも就任。19年6月からJOC会長を務めている。

IOC委員就任を受け、「官民挙げて東京オリンピック・パラリンピックに向けて準備を進めてきた日本への信頼感が、この得票につながったと感じています。柔道界からは、日本人初のIOC委員である嘉納治五郎先生以来、約1世紀ぶりの委員就任であり、責任の重さを感じています。覚悟を持って役目を果たしたい」と話している。

インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

同窓会・校友会・後援会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365システムによる生涯メールアドレスの利用

(tokai-u.jpのドメイン)詳細は以下URLをご覧ください。

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

東海大学校友会(校友会・白鷺会・同窓会)事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学事務部事務課(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp